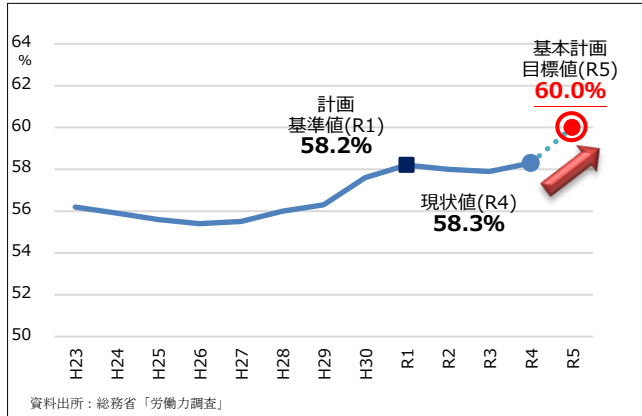


## 現行計画における目標について

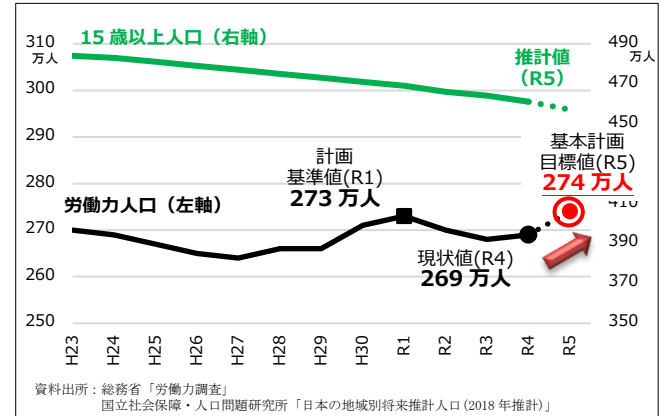
(1) 労働力率 60.0%以上(暦年)

(2) 労働力人口 274万人以上(暦年)

### 【労働力率】



### 【労働力人口】



### 【基本計画の目標】

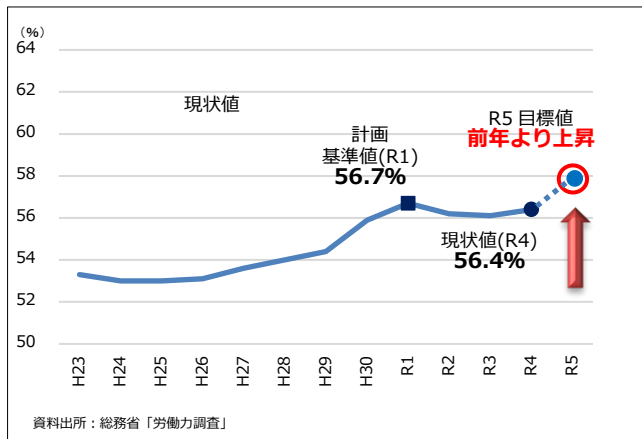
- 労働力率(労働力人口/15歳以上人口×100)  
令和元年：58.2% → 令和5年：60.0%以上
- 労働力人口(15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者(求職者)を合わせたもの)  
令和元年：273万人 → 令和5年：274万人以上

### 【労働力率・労働力人口の考え方】

今後も人口減少が進行する中であって、働く意欲を持つ方々の維持・拡大が必要であることから、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」や、道の「北海道人口ビジョン(改定版)」で示す人口の将来見通しなども参考にして、将来の男女別、年齢階層別の人口動態などを踏まえ、労働力率60%以上と労働力人口274万人以上(令和元年比1万人増)を目標値として設定します。

(3) 就業率 前年(令和4年：56.4%)より上昇(暦年)

### 【就業率】



### 【基本計画の目標】

- 就業率(就業者数/15歳以上人口×100)  
令和元年：56.7% → 毎年の着実な上昇

### 【就業率の考え方】

労働市場への参加者を確実に就業につなげるため、就業率の毎年の着実な上昇を目標とします。